

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 エイジス

コード番号 4659 URL <http://www.ajis-group.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 齋藤 昭生

問合せ先責任者 (役職名) 財務経理部長

(氏名) 西岡 博之

TEL 043-350-0567

四半期報告書提出予定日 平成21年8月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	3,458	△1.8	32	△44.4	42	△31.1	△9	—
21年3月期第1四半期	3,520	—	58	—	61	—	27	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	△1.91	—
21年3月期第1四半期	5.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	7,745	5,879	75.6	1,196.57
21年3月期	8,676	6,040	69.3	1,229.56

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 5,853百万円 21年3月期 6,015百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	45.00	45.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	0.00	—	45.00	45.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	9,517	2.8	1,058	0.4	1,075	1.1	604	0.0	123.46
連結累計期間	19,452	3.6	2,237	0.4	2,273	0.4	1,270	0.8	259.60

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	5,385,600株	21年3月期	5,385,600株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	493,484株	21年3月期	493,424株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	4,892,131株	21年3月期第1四半期	5,120,122株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年からの世界的な金融不安により受けた景気の悪化に底打ちの兆しが見えてきたものの、設備投資の抑制、雇用情勢は依然厳しく、先行き不透明な状況が続いています。

当社グループの主要顧客であります流通業界は、個人消費の低迷、価格競争の激化など、極めて厳しい経済環境が続いています。

当社グループの売上高の特徴として、国内実地棚卸サービス事業の閑散期である第1四半期連結会計期間および第3四半期連結会計期間の売上高は少なく、国内の主要な顧客である流通業界の決算が集中する第2四半期連結会計期間および第4四半期連結会計期間は繁忙期となり売上高が多くなる傾向があります。

事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

①実地棚卸サービス事業

実地棚卸サービス事業の業績は、国内実地棚卸サービス事業において、前年同期の売上高に寄与した大口臨時受注がなかったことにより、売上高は3,082百万円（前年同期比1.6%減）、営業利益は16百万円（前年同期比69.0%減）となりました。

②人材派遣事業

人材派遣事業の業績は、雇用環境の変化により顧客の自社対応が可能となり、売上高は376百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益は11百万円（前年同期比349.8%増）となりました。

この結果、第1四半期連結累計期間の売上高は3,458百万円（前年同期比1.8%減）、営業利益は32百万円（前年同期比44.4%減）、経常利益は42百万円（前年同期比31.1%減）、投資有価証券評価損等により四半期純損失は9百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

（総資産）

当第1四半期連結会計期間末における総資産は7,745百万円（前連結会計年度末比930百万円の減少、前連結会計年度比10.7%減）となりました。これは、主として売掛金が減少したことによるものです。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産は5,879百万円（前連結会計年度末比160百万円の減少、前連結会計年度比2.7%減）となりました。これは、主として配当金の支払いによるものです。

（自己資本比率）

当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は75.6%（前連結会計年度末比6.2%増）となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,589百万円（前連結会計年度末比442百万円の減少）となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、258百万円の増加（前年同期比102百万円の増加）となりました。これは、主として売上債権の減少によるものです。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、505百万円の減少（前年同期比387百万円の減少）となりました。これは、主として棚卸機器等の有形固定資産の取得及び定期預金の預け入れによる支出であります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、205百万円の減少（前年同期比5百万円の増加）となりました。これは、主として配当金の支払いによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の業績経過は概ね計画通りの推移となっておりますので、現時点での通期の業績予想につきましては、平成21年5月11日に発表いたしました「平成21年3月期決算短信」に記載の業績予想と変更はございません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第1四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,798,285	3,037,587
受取手形及び売掛金	1,401,902	2,358,404
貯蔵品	83,557	78,849
その他	354,419	327,869
貸倒引当金	△1,458	△2,277
流動資産合計	4,636,705	5,800,434
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,193,012	1,193,012
その他(純額)	639,764	471,252
有形固定資産合計	1,832,776	1,664,264
無形固定資産	440,410	428,878
投資その他の資産		
その他	850,366	798,709
貸倒引当金	△14,277	△15,903
投資その他の資産合計	836,089	782,806
固定資産合計	3,109,276	2,875,950
資産合計	7,745,981	8,676,384
負債の部		
流動負債		
短期借入金	40,000	40,000
未払金	1,089,677	1,128,732
未払法人税等	19,138	586,236
賞与引当金	167,583	278,148
役員賞与引当金	17,934	67,320
その他	394,140	400,654
流動負債合計	1,728,473	2,501,092
固定負債		
退職給付引当金	23,212	20,214
債務保証損失引当金	30,000	30,000
その他	84,325	84,335
固定負債合計	137,537	134,549
負債合計	1,866,011	2,635,642

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	475,000	475,000
資本剰余金	489,665	489,665
利益剰余金	6,169,571	6,399,082
自己株式	△1,228,089	△1,227,959
株主資本合計	5,906,147	6,135,788
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△21,634	△75,694
為替換算調整勘定	△30,776	△44,872
評価・換算差額等合計	△52,411	△120,566
少数株主持分	26,234	25,520
純資産合計	5,879,970	6,040,741
負債純資産合計	7,745,981	8,676,384

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
売上高	3,520,359	3,458,647
売上原価	2,788,935	2,723,233
売上総利益	731,424	735,414
販売費及び一般管理費	673,140	703,035
営業利益	58,283	32,378
営業外収益		
受取利息	437	685
受取配当金	5,755	5,423
受取賃貸料	4,600	7,062
その他	2,173	2,946
営業外収益合計	12,967	16,117
営業外費用		
支払利息	231	134
貸倒引当金繰入額	5,828	—
賃貸費用	3,770	4,268
その他	0	1,771
営業外費用合計	9,830	6,173
経常利益	61,420	42,322
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	947
特別利益合計	—	947
特別損失		
固定資産除却損	66	184
投資有価証券評価損	—	52,599
特別損失合計	66	52,784
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,353	△9,514
法人税等	33,589	△865
少数株主利益	150	714
四半期純利益又は四半期純損失(△)	27,613	△9,363

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	61,353	△9,514
減価償却費	61,837	66,771
賞与引当金の増減額(△は減少)	△107,353	△110,565
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△51,412	△49,385
退職給付引当金の増減額(△は減少)	3,138	△1,248
受取利息及び受取配当金	△6,193	△6,109
支払利息	231	134
投資有価証券評価損益(△は益)	—	52,599
売上債権の増減額(△は増加)	874,632	968,368
未払金の増減額(△は減少)	△167,049	△62,581
未払消費税等の増減額(△は減少)	△32,327	△30,279
その他	△19,342	△9,770
小計	617,514	808,420
利息及び配当金の受取額	4,345	5,327
利息の支払額	△153	△112
法人税等の支払額	△465,434	△554,658
営業活動によるキャッシュ・フロー	156,271	258,976
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	—	△202,175
有形固定資産の取得による支出	△102,778	△215,877
有形固定資産の売却による収入	1,714	28,041
無形固定資産の取得による支出	△40,400	△64,593
関係会社株式の取得による支出	—	△41,946
差入保証金の差入による支出	△7,716	△15,159
差入保証金の回収による収入	14,511	6,383
その他	17,260	243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117,409	△505,084
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△298	△129
配当金の支払額	△210,902	△205,659
財務活動によるキャッシュ・フロー	△211,200	△205,789
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,747	9,068
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△175,085	△442,829
現金及び現金同等物の期首残高	2,777,659	3,031,839
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,602,573	2,589,010

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)

	実地棚卸サービス 事業(千円)	人材派遣事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	3,131,205	389,154	3,520,359	—	3,520,359
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	74	74	(74)	—
計	3,131,205	389,229	3,520,434	(74)	3,520,359
営業利益	53,190	2,449	55,639	2,644	58,283

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各区分の主な製品

(1) 実地棚卸サービス事業

金額棚卸サービス、単品棚卸サービス、資産棚卸プログラム、その他の流通業周辺サービス

(2) 人材派遣事業

人材派遣サービス

当第1四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)

	実地棚卸サービス 事業(千円)	人材派遣事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1)外部顧客に対する 売上高	3,082,655	375,992	3,458,647	—	3,458,647
(2)セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	137	137	(137)	—
計	3,082,655	376,129	3,458,784	(137)	3,458,647
営業利益	16,470	11,016	27,486	4,892	32,378

(注) 1 事業の区分は、内部管理上採用している区分によっている。

2 各区分の主な製品

(1) 実地棚卸サービス事業

金額棚卸サービス、単品棚卸サービス、資産棚卸プログラム、その他の流通業周辺サービス

(2) 人材派遣事業

人材派遣サービス

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間（自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第1四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日）

該当事項はありません。

以上